

(特別支援学校版「学力向上実行プラン」様式)

平成30年度 徳島県立池田支援学校「学力向上実行プラン」

池田支援学校長

中内 貴文



1 学力向上検討委員会構成

学 力 向 上 検 討 委 員		
	職名・校務等担当名	氏名
管理職	校長 教頭 教頭	中内貴文 新居見猛 名山泰子
学力向上推進員	教諭(教務課長)	高橋陽子
委員	教諭(小学部長) 教諭(中学部長) 指導教諭(高等部学部長) 教諭(教務課長)	吉田恵美 米澤礼子 藤本豊春 高橋陽子

2 学力・学習状況における現状分析, 目標等

【3つの視点】

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- (2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成
- (3) 主体的に学習に取り組む態度の育成

(小 学 部) 幼 児 児 童 生 徒 の 状 況			
よさ	校外での学習を通して、公共の施設を利用することで、地域社会とのつながりを経験した。また、課題学習や販売体験等により、働くことに対する興味関心を高めることができた。	課題 児童の「働くこと」の意義の理解や「自己の生き方について考えを深める」ことのさらなる推進が必要である。	
具体的目標(目指す子どもの姿)		成果指標	達成状況
①身近な環境や地域の方々との主体的につながる。 ②夢や希望を持ち、働くことに対する興味関心を持つ。		①学部・学級・グループでの校外学習を年1回以上実施する。 ②行事等における販売の機会やそれに向けた作品作りの学習を年2回以上行う。	評価
具体的方策(教員の取組)		取組指標	取組状況
①公共の施設等を利用できる校外学習を計画、実施する。 ②博愛まつりや文化祭等で買い物学習や販売体験ができるように取り組む。 * 中間期の見直し		①作品見学や飲食店、スーパー等の身近な公共施設を利用し、児童の意識の向上を図る。 ②個々の実態に応じて、袋詰め、ラッピング等の学習を商品としての販売に結びつけ、職業的な意識の向上を図る。	
達成状況を踏まえた改善事項			